

2019年度第6回阿波おどり実行委員会議事録

開催日時 令和元年9月27日(金) 午後3時～

開催場所 徳島市中央公民館3階 302会議室

出席者 実行委員会7名 運営協議会2名 事務局6名 事業体4名

1 開会

2 委員長あいさつ

【委員長】

本来であれば、議事を進めるようになるが、先日9月15日に四宮生重郎氏が亡くなられた。四宮氏は阿波おどりの発展に極めて多大な功績を残されており、事業体の目標としている阿波おどりの国際化をもっとも進められたのが四宮氏である。四宮生重郎氏を哀悼し畏敬の念を込めてここで今から黙祷をしたいと思います。皆様に異議はないか。

(異議無し)

(1分間の黙祷)

四宮氏も実行委員会及び事業体の業務を見守っていただいていると思う。四宮氏に恥じないように今後も実行委員会、事業体の業務を遂行したいと思いますので、よろしくお願ひしたい、

3 議題① 2019阿波おどりの開催結果について

【運営協議会会長】

資料1 阿波おどり運営協議会からの意見について説明

【事業体】

資料2 阿波おどり一般アンケート結果集計

資料3 2019阿波おどり事業実施結果報告書

上記資料について説明。

【委員長】

先ほどの説明に対して、意見等はないか。

(意見なし)

アンケート結果を見たところ、賛否両論ある。例えば、企業連を多く出演させないでいただきたいという意見がある反面、企業連のような一般の方が多く参加していただかなければ意味がないというような対立する意見がある。あるいは参加費について、参加費を

徴収するというのはどの踊りでもあることであり、当然だという意見があると思えば、参加費は反対という意見もある。これは阿波おどりに関して皆様の関心が高い結果このようなことになる。これは、私の業界では自由裁量ということになるため、事業者がよく考えて、良い結論を出してもらいたいと思う。ただ、トイレに関して非常に多くの苦情があったと思うので、これに関しては、国際的な踊りを目指すということ、また、安心安全からの見地から見ても早急に着手する必要がある。押し並べてすぐに改めなければいけない意見と自由裁量に任されている2つの意見があるので、事業者はよく吟味し、よろしく願いたい。

4 議題② 2020阿波おどりについて

【事業者】

資料4 阿波おどりに向けた検討事項について説明

【事務局】

資料5 阿波おどり事業評価委員会について説明

【委員長】

先ほどの説明で、事業者から説明があった2020阿波おどり開催にむけた検討事項について意見はあるか。

【A委員】

チケット特典の拡充について、先ほどの説明の中にあまり内容がなかったが、今後進めていくにあたって今年どれくらい実績があったのか。この辺りは経済効果が強く出てくるかと思うので、教えていただきたい。

【事業者】

実績について、正確な数字はまだ把握できていない。自社の施設でも実際に優待特典のサービスの提供をしていたが、正直申し上げて、あまり利用が無かったというのが現状である。その原因としては、周知不足だったというところと、ホームページ上に掲載をしていたが、他の情報に埋もれてしまい分かりにくかったという要因が考えられる。そのため、しっかりPRをしていくということが必要だと思うので、次年度に繋げていきたいと考えている。

【事務局】

阿波おどりの国際化について、来年2020年は東京オリンピック、パラリンピックが日本で開催される。7月24日から8月7日までがオリンピックで、その後にパラリンピックが開かれる。ちょうど間に阿波おどりを開催する。そうした東京オリンピック、パラリンピックを睨んだ阿波おどりの国際化というところが一つ大きな課題になってくるのではないかと認識している。インバウンドで去年は3119万人の外国の方が来られて、人数では1番が中国大陸で800万人以上、2番が韓国、3番が台湾、4番が香港、5番がアメリカというようなアンケート調査が出ているので、中国語対応も必要だと考える。ま

た、国際化を含めた来年度の運営についての対応、とりわけ事業体からワールド連という提案もあったが、その辺も今後の検討課題として取り組んでいただければと思う。

【事業体】

弊社にも北京語が対応できる社員も雇用しており、来年以降については、社員の配置など、そういった対応も考えていきたいと思っている。

【委員長】

資料4に関しては、様々なアンケートの意見も踏まえて作られているように見える。チケットを買いやすくしてほしいという意見が2、3点あったし、棧敷規模の適正化や参加費徴収についても意見が出ていた。次回の実行委員会までに、より内容の充実したもの、具体的にどのような企画かを示していただければ、ありがたい。

次に事務局から説明があった、評価委員会に諮問する議題について質問、意見等はないか。

(意見なし)

評価委員会を設けるとするのは、既に既定の事実であるので、事務局から説明があった点は必須事項になると思うので、この議題については以上で終わりとする。

5 その他

【B委員】

インバウンド対策について、アンケート結果の中には本部席での英語の発音が悪すぎるという意見もあった。あるいは中国語についての対応が十分に出来ていないということもあるが、市役所にも総務課に中国語が非常に堪能な方がいるので、そういった方に活躍していただく方法もあったり、徳島市国際交流協会とは別に徳島県国際交流協会がある。その2つの団体を早い時期から束ねる形で動かしてみてもどうかと考えている。

【運営協議会副会長】

昨日の運営協議会で意見させていただいたのは、私は新町橋の運営を十数年しているが、他の棧敷の話は全く知らない状態である。市役所前演舞場は人が入っていないと言われても、自分が運営している演舞場にどうやって人を入れるかで精一杯である。

地元にいる方々が、もっと発言できる会の方がいいのではないかと。失礼な言い方だが、この評価委員会っていうのもあまりにも会を作り過ぎているのではないかと。評価委員会の委員の中で阿波おどりの事一番知っているのは清水連長ぐらいだと思う。運営協議会はそれぞれのエキスパートであり、バス関係や警察の方も出席いただいている。そういった方の話を聞いて初めてわかることもある。

先ほど委員長からもお話があったが、生重郎さんが亡くなって、阿波おどりも事業体が運営するようになったので、踊り協会の上の方々も変わって新しい阿波おどりを見せていただけたらうれしく感じる。

【委員長】

委員会が多いのも確かである。そういったことも精査していただき、意義のあるものにしていただければと思う。

全ての意見が出たので、以上を持って2019年度第6回阿波おどり実行委員会を終了とする。